

独立行政法人労働者健康安全機構 中部ろうさい病院

病院長名 佐藤 啓二 (院長)

所在地 〒455-8530
愛知県名古屋市港区港明一丁目10番6号

交通案内 名古屋市営地下鉄 名港線「港区役所駅」より徒歩7分
金山駅バスターミナル(市バス)8番乗り場より
系統25(野跡駅または港区役所行き)に乗車し、
「労災病院前」下車



病院の特徴

当院は高度成長期の1955年に増え続けていた労働災害に対応すべく政策病院として創設され、その後、産業構造の変化、社会構造の変化、また何よりも地域のニーズに応えるべく総合病院に進化してまいりました。

今後は、地域医療支援病院、愛知県がん診療拠点病院、愛知県災害拠点病院として、①より高度な急性期病院への展開、②生活習慣病など慢性疾患に対する医療において、かかりつけ医や療養型施設との機能分化と連携の更なる強化、③大学や研究機関と連携した高度先端医療の推進など、各医療機関や患者さん、地域の皆様方と健康・医療情報を共有し、更なる進化を目指しています。

研修の特徴

【総合力を重視した専門医養成】を目標にかかげ、臨床に必要な基本的事項を身に付けるカリキュラムを準備しています。76週のローテーションを必須とし、必須以外の28週は各自の希望に応じた研修を組んでいます。救急症例検討会や、内外の専門家による症例検討会、公開講演会を実施しています。臨床研修センターに専門事務をおき、カンファランス室があり、常に症例検討できる環境を整えています。

また、**内科及び麻酔科基幹病院プログラム**を有し、初期研修医時からの内科症例登録をサポートします。



メッセージ

指導医 (副院長・総合内科部長・救急部部长 丸井 伸行)

「総合力を重視した専門医養成」を目標にかかげ、臨床に必要な基本的事項を身に付けるカリキュラムを準備しており、各科必須ローテーションだけでなく、救急外来や病棟において担当した症例のフィードバックを通じて臨床経験を積み上げられる環境を用意しています。

また、医療情報へのアクセスも充実しており、加えて救急カンファランス、臨床推論カンファランス、内外の専門家による症例検討会、公開講演会を実施しています。1例1例を自らの経験とできるような研修環境の充実に努めています。



研修医 (2年次研修医 山森 惇士)

当院での研修の一番の強みは上級医の先生方や年次の近い若手の先生からの綿密な指導そして同期の中でも教え合う雰囲気大切にされている点にあると思います。

当院の研修2年間を通じて机の上の勉強にとどまらない現場の生きた知恵を学ぶことができると感じています。興味を持たれた方は是非一度見学に来て下さい!みなさんと会えるのを楽しみにしております。

研修医 (1年次研修医 伊藤 星矢)

当院は豊富な勉強会や熟意ある指導のもと、研修医が積極的に学び働くことができる環境です。自信を持って3年目に進める、より良い研修が期待できます。

ぜひ一度、見学・勉強会にお越しください。職員一同お待ちしております。

募集要項

採用実績	2021年度 11人 ・ 2022年度 12人
給与/月額	1年次 350,000円 ・ 2年次 370,000円 (※手当を含みます)
当直回数/月	6回
当直料/回	1勤務あたり21,000円
その他	年2回、一時金支給実績あり。 (令和3年度実121,000円~154,000円) 病院内敷地に宿舎・駐車場あり学会等参加への交通費補助あり。
応募連絡先	担当者 総務課 臨床研修センター 電話番号 052-652-5511 (代表) Eメール kenshui@chubuh.johas.go.jp